

経営比較分析表（令和4年度決算）

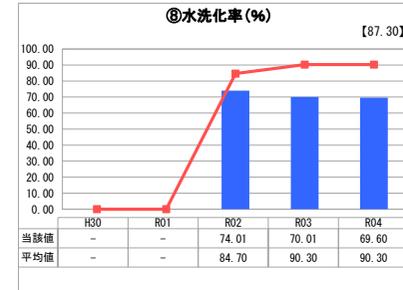
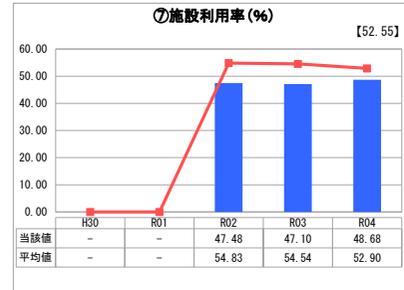
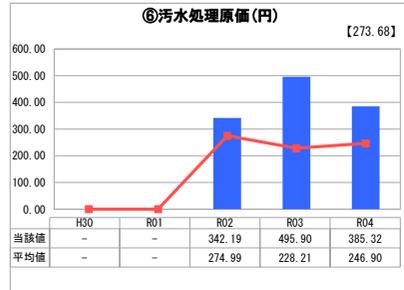
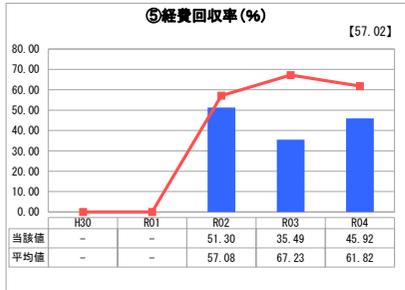
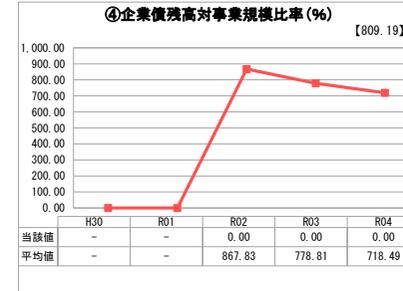
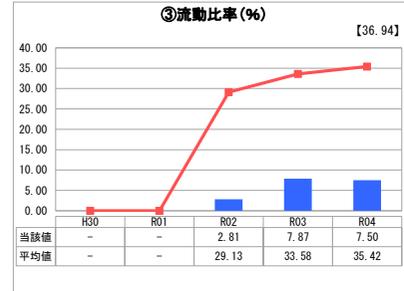
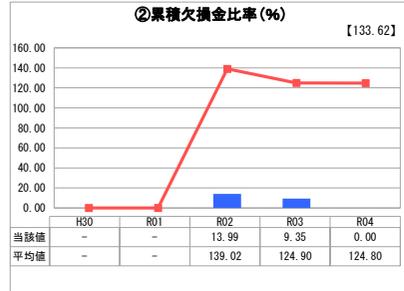
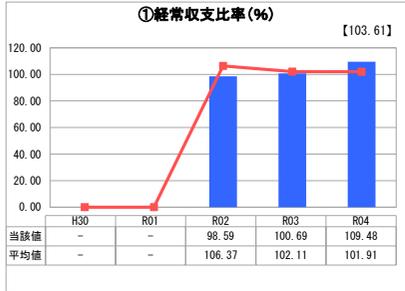
宮城県 石巻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	69.95	3.82	78.18	3,575

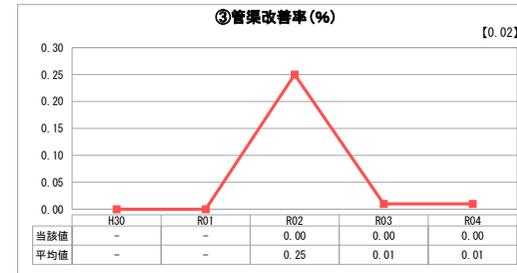
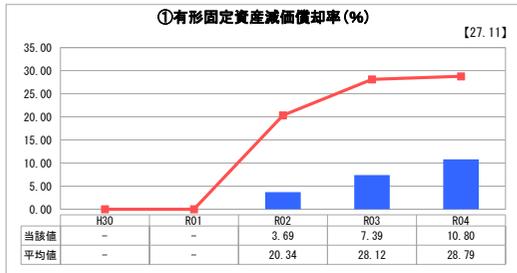
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
136,822	554.55	246.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,188	5.10	1,017.25

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
一般会計繰入金により100%を超えている状況であるが、収入確保と修繕費に優先順位を付けるなど維持管理経費の削減に努める必要がある。
- ②流動比率
類似団体平均値より低い水準となっている。企業債償還金が多く占めているが、年々企業債残高は減少傾向にあることから、今後も引き続き、計画的な企業債の発行及び経費削減に努める必要がある。
- ③経費回収率
類似団体平均値より低い水準となっているが、公共下水道事業と同一の料金体系を使用しているため、汚水処理費用を使用料で賄っていない状況である。今後、経費回収率の改善に向け、使用料改定の検討を行う予定としている。
- ④汚水処理原価
老朽化による修繕費が年々増加傾向にあり、類似団体平均値より高い水準となっている。今後は、修繕費に優先順位を付けるなど維持管理経費の削減に努める必要がある。
- ⑤施設利用率、水洗化率
人口密度の高い一部地域を公共下水道へ接続した結果、類似団体平均値より低い水準となっている。今後も同程度で推移するものと考えられる。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
増加傾向にあるが、類似団体平均値より低い水準となっている。今後はストックマネジメントの手法を活用した調査・修繕・更新の長寿命化事業への取り組みを進めていきたい。
- ②管渠老朽化率、③管渠改善率
耐用年数を超えた管渠はない。

全体総括

人口減少による料金収入の減少や施設の老朽化による修繕費用の増加が見込まれ、経営は更に厳しさを増していく状況にある。
また、公共下水道事業と同一の使用料体系を使用しているため、使用料のみで汚水処理費用を回収することが困難な状況にある。
今後は、維持管理経費の削減の観点から公共下水道への接続等を検討していかなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。